

長崎

もり通信

— NAGASAKI FOREST NEWS —

特集▼令和4年度森林ボランティア団体意見交換会を開催しました

- 長崎県フォレストマスター 令和4年度派遣実績
- 森のキセキ「ナンバンキブシ」

081号

R5. 3月

令和4年度森林ボランティア団体意見交換会を開催しました



令和5年1月14日（土）、にっしょうかん新館梅松鶴にて「令和4年度森林ボランティア団体意見交換会」を開催しました。

当初、令和4年7月30日に予定していましたが、新型コロナウイルスの影響もあり延期となりました。年明けにも関わらず森林ボランティア団体16団体19名の皆様にご参加いただきました。

はじめにセンターより、技術研修会及び森林に触れあうイベント（森フェスタ）の開催報告、貸出機材、フォレストマスター派遣制度について説明。長崎県林政課二里様にも、ながさき県民参加の森林づくりの制度について説明していただきました。

次に、センター長より日吉自然の家敷地内の広葉樹林を長崎大学のボランティアサークル「エコマジック」とボランティア団体の3団体で行う協働の森林づくりについて報告し、他団体にも参加を呼びかけました。

意見交換では、作業時の事故事例を紹介。4班に分かれ実際にあった事故事例の原因・対策について話し合い、各班の代表が内容を発表し全体での意見交換を行いました。

身近に起こる事故事例は皆さん真剣で対策などの共有もできたようです。

他にも、各ボランティア団体の皆さんから意見交換会で取り上げてほしいテーマを募集していたため、残り時間で皆さんに意見を出していただきました。お忙しい中参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。意見交換の内容は、センターのホームページでも掲載していますのでぜひご覧ください。



長崎県フォレストマスター 令和4年度の派遣実績

今年度、フォレストマスターを14件派遣しましたので実績をご紹介します。今年度は、保育園～中学生までの子ども達に向けての派遣が多く、たくさん子ども達に森林環境教育を実施していただきました。指導して下さったフォレストマスターの皆様、ありがとうございました。詳しい派遣内容はセンターのホームページでも掲載していますのでぜひご覧ください。

日付	派遣者名	概要
令和4年7月6日	蓑田 清隆	長与町の放置竹林を活用して、竹を加工したコップ・プランター・ランタンなどの制作指導を行った。
令和4年8月27日	岩崎 宏美 上川 真依	ネイチャーゲーム及び森の音楽隊として参加者全員で演奏会
令和4年9月13日	蓑田 清隆	ホルス社員に向けて、子ども達に対するクラフト作りの指導方法や、準備等について指導を行った。
令和4年9月17日	松尾 美和子	里山で育てたタデアイの葉を摘み、染液作りから染めまで実施。
令和4年10月12日	藺田 麻衣子 永岡 敦子	保育園周辺の身近な自然の中でネイチャーゲームを実施。
令和4年10月29日	藺田 麻衣子	こども園の周辺を散策しながら、自然と触れ合い。木と親しむ。
令和4年11月16日	藺田 麻衣子 永岡 敦子	保育園周辺の身近な自然の中でネイチャーゲームを実施。
令和4年12月7日	藺田 麻衣子 永岡 敦子	保育園周辺の身近な自然の中でネイチャーゲームを実施。
令和5年1月13日	藺田 麻衣子 永岡 敦子	保育園周辺の身近な自然の中でネイチャーゲームを実施。
令和5年1月21日	蓑田 清隆 田淵 睦夫	日吉自然の家のクヌギ林の枯木や灌木の伐採作業を、地域の方や自然の家の利用者に呼びかけ、ボランティアイベントとして行い、子供たちへ森林整備の話しや整備のやり方を指導。
令和5年1月21日	奥村 公子	木育キャンプ～めざせ森林マイスター～ 小学校4年生～6年生を対象に、ネイチャーゲームを実施。
令和5年1月22日	蓑田 清隆	木育キャンプ～めざせ森林マイスター～ 小学校4年生～6年生を対象に、木こり体験、火起こし体験などを実施。
令和5年1月28日	岩崎 宏美 上川 真依	ネイチャーゲーム、手鋸で枯れ枝を切る等々の自然体験活動を通し、森林や自然環境、木材利用に対する理解や関心を促した。
令和5年2月2日	蓑田 清隆	小学校5年生を対象に、長崎県内及び長与町の森林環境教育を実施。

森のキセキ …ナンバンキブシ…

(キブシ科キブシ属)

軌

跡

2月下旬頃、雑木林の林縁部に得体のしれない黄色いぶら下がりが出現します。黄色いぶら下がり、縄のれんのようにも見えますね。これが今回紹介するナンバンキブシ（南蛮木五倍子）の花です。写真は長崎市あぐりの丘に行く途中で撮影しました。花の少ない時期に一面に花が垂れ下がるので目立ちます。花は葉が出るより前に咲きます。



垂れ下がって咲く花の様子

早春を代表する花の一つで、「黄色の暖簾」、「金色の鎖」、「花かんざし」などと例えられます。この植物はキブシの変種とされ、本州（山口県）、四国（南部）、九州（奄美大島・徳之島まで）に分布しています。キブシは県内では多良山系に自生しているようですが、里山でよく見かける種類は、ナンバンキブシです。キブシと比べると根元から株立ち状によく枝分かかれし、枝も太く、9月から10月頃成熟する丸い実も2cm程度とキブシよりも大きいのが特徴のようですが、変種としての分類は、なお議論があるようです。この植物は、高さが3～7mの落葉低木で雌雄異株です。



ナンバンキブシの実

キブシの名前は五倍子（別名、フシ。タンニンを含む。）の代用として黒色の染料に用いられたのでこの名前が付いたそうです。特定の用途はありませんが、楊子材、傘の柄、薪炭材として利用されます。庭園樹として利用する場合は、雄株の方が花を多くつけるので喜ばれます。



センターからのお知らせ

センターのホームページはこちら→



日頃より、森林ボランティア活動に勤んでいただきありがとうございます。
今年度は新しい団体が3団体加わり、現在49団体の皆さまに森林ボランティア団体としてご登録をいただいております。

これからも安全第一で楽しくご活動されてください。

森林ボランティア支援センター スタッフ一同

登録団体の皆様へ 3月分の活動報告は、4月10日までにご提出ください。